

75歳以上の医療費窓口負担2割化 「来年10月実施で調整」との報道**厚労大臣あてに緊急要請 FAX をお願いします**

75歳以上の医療費窓口負担について、政府は来年10月実施で調整に入ったとの報道が流れました。年末までに編成する来年度政府予算案の編成過程で正式に決めるとも言われています。

中央社保協が、厚労大臣あてに緊急要請 FAX に取り組むよう呼びかけています。各団体でも取り組みをお願いします。

◎九度山町議会委員会で、75歳以上の窓口負担2割化中止を求める請願を採択**各地方議会に、請願・陳情を行いましょ**

橋本・伊都社保協は75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止を求める請願を各市・町議会に提出しています（高野町議会は陳情）。このうち、九度山町議会では、委員会審議が行われた結果、請願を採択しました。本会議でも採択される見込みです。かつらぎ町議会は継続審議となりました。また、橋本市議会では残念ながら請願は否決されました。

各地方議会に請願・陳情を行いましょ。

◎生存権裁判（第32回）開かれました。 次回3月15日（火）11時

生存権裁判が12月10日に行われました。次回審問では、証人尋問（学者1人、原告から3, 4人）を申請する予定です。

報告集會に、政府による物価詐欺的調整を告発する、白井さん（元中日新聞小松支局長）が激励にかけつけました。勝訴判決が出された大阪地裁は、厚労省の物価下落4, 78%（2008年から2011年にかけて）の主張に対して、「統計等の客観的な数値」や「専門的知見との整合性を欠く」として、そのデタラメさをみ

ちり認めました。

★介護士として生き生きと働いています。（報告集會で紹介されました）

昨年末にあざみの会を訪ねてこられた男性。家賃が払えず、電気も水道も使えない状態でした。明るる日市役所に行って生活保護を申請し、家を見つけてもらって大晦日31日に引っ越しができました。今は介護の仕事について生き生きとしていらっしゃいます。生活保護は人の人生を立て直す手助けをするためにあるとつくづく感じます。

★金沢地裁で不当判決～生活保護制度は他の諸制度や諸施策と法律上、事実上連動し、保護基準はナショナルミニマム（国民的最低限）として生活全般に極めて重大な影響を及ぼす。格差と貧困が拡大固定化する中で、全世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の拡大は、現在の社会保障制度の脆弱さを浮き彫りにするとともに、最後のセーフティネットとしての生活保護の重要性をも明らかにした。それにもかかわらず、生活保護費10%削減という自民党の政権公約を実現する目的でなされた今般の引下げを安易に追認した本判決は、行政を追認して司法の役割を放棄したものに等しく、到底容認できるものではない。（原告団、弁護団の声明より）